



私が夏休み防災無線放送を担当しました

町では、防災行政無線を活用して、夏休みの期間中に子どもたちが安全に帰宅できるよう帰宅促進放送をしています。

今回は、入谷小学校6年生の菅野滉太^{こうた}さんが担当しました。

菅野さんは「音割れしないように話すのが難しかった。」と感想を話してくれました。



町の未来を見守るモアイ

7月29日(土)、人々が集う交流の場として整備した「うみべの広場」のオープニングセレモニーを執り行いました。この「うみべの広場」には、1991年(平成3年)に旧志津川町で制作したモアイ像と2013年(平成25年)にチリ共和国から寄贈されたモアイ像の2体を移設しています。

旧志津川町とチリ共和国は、1960年(昭和35年)に発生したチリ地震津波をきっかけに友好関係を築いており、本来門外不出である貴重なモアイ像を寄贈いただいています。

オープニングセレモニーで、駐日チリ大使館臨時代理大使のルイス・パルマ氏は「今回の式典は、南三陸町とチリ共和国にとって重要な意味を持つ。このモアイ像は、南三陸町とチリ共和国の間に存在する長い歴史的友好関係を象徴するものとなる。」と話しました。

「モアイ」は、イースター島のラパナイ語で「未来に生きる」という意味があります。この2体のモアイ像は、未来に生きる南三陸町の人々を勇気づけ、見守り続けることでしょう。

新みやぎ農業協同組合様より乗用モアを寄贈いただきました



J A 共済が実施する地域貢献活動の一環として、農業農村交流施設などの管理作業効率化および地域環境保全のため、新みやぎ農業協同組合様より乗用モア(草刈機械)を町に寄贈いただきました。

8月1日(火)に贈呈式を開催し、新みやぎ農業協同組合の佐藤由一代表理事専務から町長に目録が手渡され、その後、乗用モアの前で記念写真を撮影しました。

寄贈いただいた乗用モアは、町の施設である「ひころの里」で使用するほか、町内各施設の草刈り作業に活用していきます。



子どもたちに元気を

7月23日(日)平成の森しおかぜ球場において、「2023プロ野球イースタン・リーグ公式戦 東北楽天ゴールデンイーグルスVS千葉ロッテマリーンズ」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことや、天候に恵まれたこともあり、1,731人と多くの人にご来場いただきました。

当日は、南三陸町野球クラブの山内陽汰^{ようた}さんから両チームへ激励の言葉があり、始球式は、南三陸町野球クラブの佐々木乃愛^{のあ}さんが務めました。

試合終了後は、フィールドが開放され、選手たちとのキャッチボールやベースランニングが行われました。来場した子どもたちからは、「プロの選手のプレーがかっこよかった。」「プロの試合を近くで見ることができて嬉しい。」といった喜びの声が聞かれました。

東北から元気を発信

7月24日(月)東日本大震災復興支援プロ・アマ麻雀大会実行委員会様よりご寄附をいただきました。2012年(平成24年)より始まった当町への寄附は、今回で9回目を数えます。

この寄附金は、23日(日)に登米市で開催された「第10回震災復興支援麻雀大会」の大会費やゲスト料の一部が含まれています。

当日は、一般社団法人日本プロ麻雀連盟の森山会長をはじめ、佐々木プロ、高宮プロ、井上プロ、そして実行委員長である吉田プロに来庁いただきました。

